

立花生徒会新聞

Signal 通信

signalの意味
「信号」
思いやりの
ある学校へ

平成28年
1月7日 木曜日
立花中学校
生徒会新聞

決意表明

冬休みも終わり、新生徒会執行部の活動も本格的に行われるようになってきました。私たちは12月9日(水)に行われた生徒会執行部役員選挙で、それぞれがさまざまな思いや考えを持って立候補しました。しかし、「自分たちの力で学校を良くしていきたい」、「皆さんの心に残る良い行事を作りたい」という大きな方向性は同じでした。大きな行事の際には学校全体が一つにまとまり、素晴らしい雰囲気が生まれます。ですが、それを成功に導くためには、生徒会執行部だけが頑張るのではなく、全校生徒一人一人の協力が必要です。その協力があれば、行事は必ず成功させることが出来ると思えます。ですから、まずは生徒会執行部8人全員が協力し合い、みなさんの協力のもと、1つ1つの行事を成功させ、乗り越えていきたいと思えます。

生徒会執行部は、毎朝の挨拶運動や朝礼の進行、生徒会新聞の発行など、1年間の中でさまざまな活動を行っています。特に、生徒会新聞は月に1度必ず発行するようにしています。これらの活動は、1年間を通して確実に実行していきたいと考えています。専門委員会では、各委員会で旧生徒会執行部の先輩方から今までの活動を引き継ぎ、自分たちの力で委員会を進行していきたい。一生懸命取り組んでいこうと思えます。

タイトルについて

今年度の、生徒会新聞のタイトルは「signal」に決まりました。「signal」というタイトルは、生徒会執行部が時間をかけて、話しあって決めたものです。今考えてみると、学号機の色と同じです。もし信号機がないと混乱を起す大変な状況になります。もちろん自分の身を守る事も容易ではありません。それから、困っている人がいたら

新学期について

短かった12日間の冬休みも終わり、新学期がスタートしました。冬休みには、大晦日や元旦など楽しかったか? クラブ活動や塾で、忙しかったという人もいたと思います。夏休みや冬休みの長期休みは誰でも勉強に身が入りにくいものです。しかし、生活面では不規則な毎日を過ごしていた人もいるのではないのでしょうか? 今からでも遅くないです。気持ちを3学期

をつくっていきましょう。学校づくりに協力する事は「誰かの為を思って行動出来るように」という意義にも繋がります。立花中学校の全校生徒が「signal」を目標にこれから1年間頑張ってください。生徒会執行部も「signal」を目標に11年前の一月十七日、阪神淡路大震災が起こったからです。阪神淡路大震災は私達が住む尼崎にも被害をもたらしました。皆さんの家族の中にもこの震災を経験された方がいるのではないのでしょうか? この震災は、起こった時刻が午前五時四十六分と朝早かった為、寝ている人が大半だったそうです。私達に、災害を無くす事は出来ませんが、被害を少なくすることは出来ます。防災訓練は、その為にあります。防災訓練は、とても大切な行事なので、しっかりと取り組むようにしよう。

防災訓練

今月、一月十六日に防災訓練があります。なぜ、毎年この時期に防災訓練を行うのでしょうか? それは二十一年前の一月十七日、阪神淡路大震災が起こったからです。阪神淡路大震災は私達が住む尼崎にも被害をもたらしました。皆さんの家族の中にもこの震災を経験された方がいるのではないのでしょうか? この震災は、起こった時刻が午前五時四十六分と朝早かった為、寝ている人が大半だったそうです。私達に、災害を無くす事は出来ませんが、被害を少なくすることは出来ます。防災訓練は、その為にあります。防災訓練は、とても大切な行事なので、しっかりと取り組むようにしよう。

今、私達に出来る事は、これまでの震災で命を落とした方々のことを忘れないこと。そして、これから起こる災害の被害を出来る限り少なくすることです。そのために大切な事は、防災グッズを用意したり、家族で避難場所、避難経路の確認をしておくこと。災害はいつどこで起こるか分かりません。いざ起こったときに、冷静に行動出来るように、防災訓練には真剣に取り組むようにしよう。

編集後記

今日から三学期が始まりました。気持ちを新たに、残りの三ヶ月を有意義なものにしましょう。新生徒会執行部に協力よろしくお願いします。(大木・渡邊・大川・野村・白瀬)